

# コミュニティ助成事業



宝くじは、広く地域に発注されています。

平成17年度に  
宝くじの助成金で  
整備した事業を  
紹介します



上余戸自治公民館  
一般コミュニティ助成事業  
公民館備品整備（掲示板など）



倉吉打吹太鼓振興会  
一般コミュニティ助成事業  
郷土芸能用品修繕（太鼓）

## コミュニティ助成事業とは？

コミュニティ助成事業は、財団法人自治総合センターが、宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、コミュニティ活動に助成を行い、コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報事業を行うものです。

## 助成事業実施までの流れは？【18年度の流れ】

- 1 平成19年度の地区または自治公民館などの活動について検討
- 2 検討された活動の中で、対象となる事業がある場合、10月末日までに市役所企画課まで申請書類を提出（事前）に企画課へご相談ください
- 3 自治総合センターによる事業の採択・不採択の決定（内定1月下旬、決定4月上旬）
- 4 採択事業について、平成19年度（4月～翌年3月）の間に実施

## どんな事業が助成の対象になるの？

対象となる事業の概要については、次のとおりです。

青少年健全育成助成事業	コミュニティセンター助成事業	自主防災組織育成助成事業	緑化推進コミュニティ助成事業	一般コミュニティ助成事業
<p><b>助成概要</b> 青少年の健全育成に役立てるため、主として小・中学生が参加する次の事業で国の補助金の交付を受けないソフト事業に対して、助成を行います。</p> <p>(1) スポーツ・レクリエーション活動に関する事業 (2) 文化・学習活動に関する事業 (3) そのほかコミュニティ活動のイベントなどに関する事業</p> <p><b>助成額</b> 1件につき、30万円から100万円まで（10万円単位）</p>	<p><b>助成概要</b> 市町村やコミュニティ組織が行う多目的な総合施設（コミュニティセンター）の建設整備に関する事業であって、次の基準に適合するものに対して、助成を行います。</p> <p>(1) 当該地区のコミュニティ活動の推進のために必要な施設であること (2) 当該地区の住民の協力のもとに、コミュニティ計画に基づき実施するコミュニティセンターの建設整備であること</p> <p><b>助成額</b> 対象となる総事業費の5分の3以内に相当する額。ただし、1,500万円を限度（10万円単位）</p>	<p><b>助成概要</b> 自主防災組織が行う地域の防災活動に必要な施設または設備の整備に関する事業に対して、助成を行います。</p> <p><b>助成額</b></p> <p>(1) 新設の自主防災組織は、30万円から200万円まで（10万円単位） (2) 既設の自主防災組織で過去に助成を受けていない組織は、30万円から150万円まで（10万円単位） (3) 地域安心安全ステーション整備事業を行う自主防災組織は、30万円から100万円まで（10万円単位） (4) そのほかの自主防災組織および市町村が自主防災組織に支給または貸与するものは、30万円から100万円まで（10万円単位）</p>	<p><b>助成概要</b> 広場、公園、児童遊園などコミュニティ施設やその周辺の植栽、主にコミュニティ組織が行う緑地帯、花壇などの造成、フラワーポットの整備や緑化の推進に必要とする苗木、種子、用具などの整備など、助成を行います。</p> <p><b>助成額</b> 1件につき、50万円から200万円まで（10万円単位）</p>	<p><b>助成概要</b> 市町村またはコミュニティ組織（自治会など）が行う、コミュニティ活動に必要な施設や設備の整備に関する事業に対して、助成を行います。</p> <p><b>助成額</b> 1件につき、100万円から250万円まで（10万円単位）</p>

※助成要件に合致しても、助成事業の予算を超えた場合、不採択となる場合があります。

平成17年度に  
宝くじの助成金で



宮川町2丁目公民館  
コミュニティセンター助成事業  
宮川町2丁目自治公民館建設



倉吉町並み保存会自衛消防団  
自主防災組織育成事業  
可搬式動力消防ポンプ等



三明寺東自治公民館  
一般コミュニティ助成事業  
除雪機 倉庫整備

整備した事業を  
紹介します

## ハート・バリアフリー

倉吉市人権文化センター

☎ 22-4768 / FAX 22-4901

No. 22



市内の保育園・小学校・中学校では、社日本助産師会鳥取県支部中部分会  
人間の性を人格の基本的なもの、尊厳のあるものとして位置づけ、生命の大切さを認識する教育が、家庭・学校・地域などさまざまな場で、幼児期から展開されることが重要となっています。

### 「性」と「生」の視点から

「性」とは、「生きる」ことに「性」(こころ)がついて「性」と表します。  
人間の尊い命を存続させたのは性です。  
私たちが、性について考えることは、自分について振り返ることになります。  
「性教育」は、より良く生きていくための「生教育」であり「人間教育」です。

### 「いのち」の出前教室

による、「いのち」の大切さを伝える「出前教室」が開催されています。

一般的な性教育ではなく、「自尊心・自己肯定感」を高めることができるよう学習がされています。

(注)性的マイノリティについては、市報10月15日号6頁ハートバリアフリーNo.12をご覧ください。

♥一人一人みんな生まれてから、大切な宝物だと分かりました。僕は、今まで生まれてくるのが、当然だとおもっていました。でも、生まれてくるのは、奇跡だと、初めて知りました。(小学生4)

「いのち」の出前教室の感想より

♥今まで、あまり深く「命の大切さ」のことを考えていなかったけど、今日はとても真剣になれたし、たくさん得たものがありました。(中学生女子)

### 大人へのメッセージ

自分のいのちも相手のいのちもかけがえないものだというのを、大人と子どもが一緒に実感し、「性」のあり方について学んでいくことが大切です。

大人は、「性教育」というと「恥ずかしい」とか「子どものくせに」とか、その話題から離れようとしています。

子どもたちが、本当に困ったとき親やきょうだいに相談できる環境でしようか。

「性を学ぶ」ということは、「いのちの尊さ」を学ぶことです。自分を愛することと同時に、周りの人を愛することです。自分自身がかけがえない大切な存在であり、固有な存在であることを感じ取り、自分自身を好きになり、すべてを受け入れ、より豊かに生きていこうとするエネルギーにつながります。  
「性」の話をするとき、隠さず、子どもたちと向き合うことが重要です。

### 性とは心がいきいきと 生きること

#### ◆保護者

小学生と中学生の息子がそれぞれ『いのちの出前教室』を受けました。その日の夜は、二人とも私に質問せぬ。妊娠から出産、育児のエピソードを、母子手帳とへその緒、そして赤ちゃんの時の小さな靴下を見ながら話をしました。小学生の息子は、「僕のおなかのケリは痛かった？」中学生の息子は、「障害があるかもしれないと言われても、生んでくれてありがとう」と目を輝かせて話しました。こんな貴重な時間を作ることができ、感謝しています。また、どちらも参観日でしたので参観し、いのちの尊さや性について、どう子どもに語りかければよいのか、大変参考になりました。

#### — ネットワークスマイル —

自分こと 体のこと 性のこと  
などをサポートするネットワークです

#### 医師・助産師によるネット相談

himataka@apionet.or.jp  
liliandissei@ezweb.ne.jp

#### 男女共同参画センターよりん彩相談室 (「いのち」の出前教室)

yorinsai-soudan@pref.tottori.jp  
☎ 23-3939

(火～日曜日 午前9時～午後5時)

倉吉保健所 ☎ 23-3142





一日消防署長に变身し、みなさんに「火の用心」を呼びかけました。



関金・華川の中高生交流での一コマ。眼下に北朝鮮が見えました。



私が講師を務めた韓国料理教室の一コマ。



関金かごきレースに、県下の国際交流員と参加をしました。

### 韓国語講座受講生

西尾 春代さんより

ソジン先生との出会いは、韓国が大好きで「一人で旅を試してみたい、それにはまず言葉から」と、韓国語講座を受講したのがきっかけでした。

はじめはチンプン カンプンで気持ちだけが焦っていましたが、ソジン先生の「はじめから少しずつ取り組むことが大事ですよ」との言葉に励まされ、今では韓国語の面白さと難しさの両面を感じることができるようになりました。

そして何よりも一生懸命教えてくださるソジン先生にお会いしたことで、何歳になっても努力をすればどんなことでも身に付くことを知りました。また、現地で会話ができただけの喜びは、何ものにも代えがたく、これからの励みとなると思います。最後になりましたが、厳しさの中にも優しさあふれるご指導ありがとうございました。

감사합니다.



## 国際交流員 韓 召眞さん

# カムサハムニダ

(ありがとう)

# トマンナヨ

(また会いましょう)

倉吉市国際交流員の韓 召眞(ハン・ソジン)さんが、3年間の任期を迎え、このたび帰国の途に着かれます。その気さくな人柄で多くの人に慕われてきた韓さん。私たちは韓さんを通して、韓国という国を身近に感じることができました。本当にありがとうございました。今回は韓さんに関金・倉吉で過ごした3年間は振り返っていただきます。



韓 召眞 (ハン・ソジン) 任期：平成 15 年 4 月～ 18 年 3 月  
市民を対象とした韓国語講座や料理教室の開催、姉妹都市との連絡調整、各種交流事業の通訳・翻訳、市内保育園・小中学校をはじめ各地区に出向くなど、3年間に渡り韓国文化の紹介を行ってきた。

アンニョンハセヨ。「国際交流員」の合格通知をいただいた日を今でもはつきりと覚えているのに、あっという間に3年が経ってしまいました。市民の皆様には韓国語講座や料理教室をはじめ、地域のさまざまなイベントを通じてお会いし、貴重な思い出を作らせていただきました。大学を卒業しての初仕事が国際交流員だったため、未熟なところも多かったと思います。また、外国での生活に慣れるようにと、大変ご心配をいただいたと思います(実は、自分の中には日本が外国という意識は全くないです)。無事、任期を終えることができるように見

守ってください。皆様に心よりお礼申しあげます。

倉吉にはみどり豊かな自然があり、綺麗な空気があり、私の大好きな温泉があり、そして、何より心温かい人がいます。こんなに素敵な倉吉を後にして帰国するのはとても名残惜しいですが、倉吉での経験をもとに、韓国での新たな生活の第一歩を踏み出していきます。その際、倉吉が懐かしくなったら、元気をいただきに、またぜひ遊びに来たいと思います。

最後になりますが、皆様のご多幸と倉吉市のますますの発展をお祈りします。カムサハムニダ。

韓 召眞



ソウルで開かれた会議に参加し、大統領官邸「青瓦台」を見学しました。



仕事の中で最も楽しく、やりがいを感じたのが韓国語講座。



「チャングムの誓い」のチェゴサン様から倉。きれいでしたよ。



私の最大の夢であった「白無垢(しろむく)姿を披露します。

韓 召眞 国際交流員  
「帰国前報告会」を開催！

3月18日(土) 午後3時～5時 関金総合文化センター 入場無料  
問い合わせ先：市民参画課 (☎ 22-8159) 多くのかたの参加をお待ちしています。